

事業評価個票（事業実施：令和6年度）

（様式1）

事業名	XRビジネス創出事業費		開始/終了(予定)年度		令和6 / 令和8	
部局・担当課名	産業労働部 産業創造振興課					
総合発展計画実施計画の位置付け	政策の柱、政策	[政策の柱3] 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化 [政策1] IOTなどの先端技術の活用等による産業イノベーションの創出				
	施策	[施策5] 起業家・スタートアップ企業の創出				
	目標指標	県の支援による創業件数	R6:70件			
事業の目的	若者の興味・関心が高いXR（クロスリアリティ）を手段として、デジタル技術の高度化・汎用化に伴い不足しているデジタル人材の育成、デジタル関連産業の集積を図ることにより、本県産業の新たな柱としてデジタルコンテンツ産業を新興し、所得の高い仕事の増加、若者・女性の県内定着および産業の高付加価値化、スタートアップ創出を推進する。					
事業概要 (令和6年度の実施内容)	1 デジタル人材の育成・強化 ・小中学生に対するXRの体験の場の提供や、高校生などの若者を対象としたXR関連技術習得機会の提供等 2 地域文化・資源、技術等のデジタルコンテンツ化 ・山形の文化や資源、技術等を題材としたXRコンテンツの作成等 3 地元企業での活用促進 ・製造業、農業等におけるXR活用の検討、実践、企業向けXR活用セミナーの開催等 4 XR実践環境の整備 ・本事業の核となる産学官で設立した「ヤマガタリアルメタパス研究所」の運営					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 () 上記実施方法とする理由： ・民間事業者のノウハウを活かし効果的に取組みを進めるため。 ・民間事業者の主体的な取組みを促進するため。					
	予算見積書グループ名	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
当初予算額 (単位:千円)	① XRビジネス創出事業	78,732				
	②					
	③					
	④					
	計	78,732	-	-	-	-
財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金	36,866				
	県債					
	その他特定財源					
	一般財源	41,866				
計	78,732	-	-	-	-	
活動指標及び成果指標設定の考え方						
本事業による取組み状況は、事業の実施により把握されることから、活動指標には育成されたXR関連人材の数を設定した。また、事業は産業の高付加価値化、スタートアップ創出を目的としていることから、成果指標及び成果実績には、本事業の実施により生まれた企業との実証実験の数を設定した。 なお、活動指標、成果指標の設定水準は、これまでのデジタル関連のセミナーの参加状況、県内企業のデジタル化の現状を勘案して設定した。						

事業所管部局による評価・検証（令和 年 月）

項目	評価 (ABC)	評価に関する説明	
事業の必要性		事業の目的が県民や社会のニーズを的確に反映し、成果目標の明確な達成手段として位置づけられ、優先度の高い事業となっているか。また、市町村・民間等に委ねることができない事業なのか。	課題
事業の効率性		支出先の選定や受益者との負担関係は妥当であるか。	
事業の有効性		活動実績は見込みに見合ったものであるか。また、整備された施設や成果物などは十分に活用されているか。	今後の対応
事業の有効性		成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	

（評価基準）「事業の必要性・事業の効率性」 A:妥当性が高い/B:おおむね妥当である/C:妥当性が低い

「事業の有効性(達成度)」 A:目標を上回る成果、活動見込を上回って達成(100%以上)/B:おおむね目標どりの成果、活動見込をおおむね達成(80%以上100%未満)/C:目標を下回る成果、活動見込を下回った(80%未満)